

課題車種

ホンダ・フリード

年式：平成30年（2018年）

型式：DBA-GB5

車台番号：GB5-106××××

エンジン型式：L15B

型式指定：18393

類別区分：0006

塗色コード：B553P コバルトブルーパール/2CP

グレード：G



損傷状況 駐車場に停車中、前方からバックしてきた車両が追突

ヒント

- ・助手席側の擦過傷は対象外
- ・エンジン脱着はしていない
- ・運転席側フロントビラーに損傷はない
- ・運転席側フロントドア前端部に上下10cm・前後3cm程度の損傷あり（内側に折損）

参加条件

本誌読者または
EGwebプロユーザー

○使用システム

参加者全員が同条件下で見積り作成することで、公平性を高め、より正確に技術者を評価することを目的に、プロトリオスが提供する見積書作成システム「EGwebプロ」を使用

見積り作成条件

指数対応単価：6,500円
塗料：2K
塗装材料費：18%
値引き設定：なし
10円単位の端数：四捨五入
※上記はすべてシステム側で設定

○特記事項

指数を使用、または応用して見積書を作成。また、塗装費用は一式ではなく、内訳明細まで記載すること

大会コンセプト

見積りグランプリは、プロトリオスが用意した損傷画像とヒントを基に、参加者が過去の経験などからイメージを膨らませながら見積書を作成してもらい、それを審査、採点する企画である。そのため、あえ

て一部の損傷状態を明確にせず、課題を提供していることに留意いただきたい。

模範見積書もまた、協定見積書をベースに作成しているが、実際の保険協定の現場で必ずしも認められることを保証するもの

ではない。

主目的は、参加者が模範見積書と自分が作成した見積書とを比較することで、新しい気づきや発見を与え、自らの見積り技術の向上につなげてもらうことにある。

作業工程の把握と指数の理解を深め、見積り技術の向上を図る

講評：永縄俊裕（ボデーリペア技術研修所・講師）



まずはじめに、今回より見積り作成に使用するシステムが統一されたことで、少なからずイコールコンディションに近づいたのではないかな。そのような中、様々な見積書を見させてもらったが、各々の工場の特徴や見積り作成者の思いなどが垣間見える内容で、改めて私自身も多くのことを勉強する機会となった。ぜひ、読者の皆様と内容を共有しながら、より一層の見積り技術向上の一助になればと思う。

審査に関しては、いくつかの重要と思われる項目において、どのように見積り計上されているかを基準とした。しかしながら、その基準や項目の詳細については、公表しないことをご理解いただきたい。

実際に協定した見積書を基に、損傷

状況より判断できる修理作業内容と実作業を行うにおいて、必要と思われる作業項目を考慮して模範見積書を作成した。それと比べながら、見積り金額、右FRフェンダー・右FRドア関連、内板骨格・エイミング関連、エンジンルーム内作業関連、塗装作業関連の5項目について解説していく。

見積り金額

模範見積り金額は、498,703円（税別）となった。参加者の見積り金額は、最大が810,980円（税別）、最小が228,900円（税別）、平均額が430,568円（税別）だった。最大と最小の幅が約58万円と、かなり開きがあることに少々驚きを感じた。

考えられる要因の一つとしては、普段使用している見積りシステムと異なることで、思うように見積りに反映できなかった可能性が挙げられる。また、損傷状況を見た上での損傷範囲や作業範囲の選択の違いによって、見積り金額の幅が広がったと想像される。

それゆえ、安易に損傷範囲や作業内容を判断するのではなく、しっかり観察しながら想定される作業項目を理論的に見積り計上するように心掛けてもらいたい。

外板板金修正指数の難易度判定基準 （指数テーブルマニュアルより抜粋）

①損傷の程度 軽度な損傷（*1）			
②損傷の位置 プレスライン部または パネル端部におよばない損傷	すべて YES	YES NO 混在	すべて NO
③損傷部の構造 パネル裏面からハンマおよびドリル、 スプーン等で作業ができる損傷（*2）			
	A	B	C

〈*1〉一損傷あたりの面積が3dm²以下で、かつ著しい折れ、つぶれ、延びが認められない損傷をいう。

〈*2〉付属品を脱着すれば、裏面から作業できる損傷を含む。